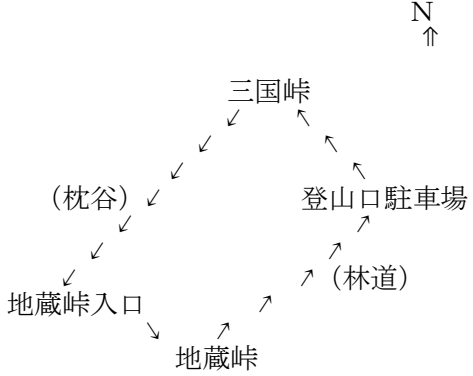


11月10日

京都北山 山下 隆

山名	京都北山	山行名	芦生			
ルート	三国峠登山口ー三国峠ー枕谷（研究林）ー地藏峠ー三国峠登山口					
山行日	2018, 11, 10（土）	天候	曇→晴			
参加者	リーダー： 山下 隆、 サブリーダー：竹原順治 男性（北川、西川洋、西川敏彦、若林）、女性（倉光、竹原）。 合計： 8 名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名	時：分	地名	時：分		
	松井山手	集		地蔵峠入口 (枕谷)	着	13:30
		発	6:30		発	
	登山口駐車場	着	9:10	地蔵峠	着	13:37
		発	9:28		発	
	三国峠	着	10:49	登山口駐車場	着	14:22
		発	10:55		発	14:37
峠下 (昼食)	着	11:30	松井山手	着	17:30	
	発	12:00		発		

今回の芦生の森の計画は2007年の新緑の時期に北川CLの下でのほぼ同等のコース（芦生の中山神社から上谷・下谷の一部）を歩く計画とした。2年前の秋には、「芦生山の家」に泊りトロッコ道と下谷の秋を堪能し、芦生の秋の素晴らしさに魅了されての再訪となる。今年9月の台風21号で京都北部の山々は相当荒れたので、事前に研究林事務所・高島市の観光協会・現地の土木事務所で情報収集した。長治谷から目玉のカツラの大木までは行けるが、登山口駐車場への林道は倒木で通行止めがあり、登山には不適とのマイナス情報もあるもとりあえず実行することにした。西川洋さん運転の車1台で行くことになった。林道入り口の生杉で情報収取すると登山口まで車で入れることが判り、70分の歩行は免れた。「山帰来」店で新書式の登山届を出す。

記憶に残る駐車場に着くとすでに5~6台の先客があり、20台は止れるので余裕はあった。登山口の標識を見つけるのに少し手間取った後、三国峠までの急登が始まる。すぐに素晴らしい紅葉の舞台となり、足は何度も止まり歓声があがる。天気よしで紅葉もベストシーズンだった。三国峠経由後、枕谷への入り口は標識が無く、ここが入口だと確信が持てるまでに30分は悩む。ホットしたところで夢のような芦生特有の雰囲気の下でのんびり昼食とした。枕谷入口から地藏峠入り口までの谷道は不明瞭で荒れ放題の難所。11年前は50分位掛っていたのが90分掛かり、標準時間の2.6倍。地藏峠入口の標識を見つけた時は一安心。「かんなび」にはハイキングと案内したがそうではなかった。上谷に行くのは止め、大幅のショートカットで地藏峠に出て、林道を駐車場までのんびり歩く。地藏峠のゲートにはここから研究林入山は禁止と書かかされている。研究林事務所（研究林の東端）側からは了解取っての入山OKとなっているも、この林道（研究林ではない）の周辺は紅葉シーズンにジャストフィットし、青空をバックに日の光に照らされた紅葉風景を堪能できた。ほぼ、予定の時間に駐車場についた。台風21号のツメ跡らしきものは感じられなかった。西川洋運転手を初め、参加者の御協力に感謝です。

ヒヤリハット；フカフカ落葉の枕谷では各人各様のやり方で滑ったり・転がったりは1~3m.

錦秋の芦生山行のお誘いを受けた。まるで小生の為に企画して下さった山下さんに感謝します。近頃は森を歩く事もなく、老人会の歩こう会に参加するのみだった。豊かな自然林を歩いて森の息吹を感じ、作画のモチーフ求めるために熱っぽいお誘いをお受けした。

生杉の集落を抜け、林道を進む程、秋深く分け入った。数回の台風に見舞われた北山は通行止めの札のあるところまで乗り入れた。登り路も乱れており、三国峠登山口も解り難かった。いきなり急登に取り付き、滑り易い登行となった。ブナの原生林の中、紅黄葉の落葉をふみしめて進む。遠く楓やうるしの紅葉、トチやかつらの黄葉を眺めながら急登をあえぐ。林床には石楠花や笹藪の低木。夏の緑の樹林に比べて紅黄葉の道は明るく、青空の光が透き通る。1時間程の急登で本日の最高地点三国峠に達した。頂上の標にタッチすると登高のつらさを忘れた。

緩い起伏の中に広場を見つけ、コンビニランチを拵げた。参加の皆様からのチョコや柿の差し入れがおいしい。ここから枕谷を下る。大好きな下り道だ。下る快適さがあるから山は好きだ。台風に痛めつけられた下山路は注意を要するが、自然林は美しい。溶け入る風景の美しさが体にエネルギーを満たしてくれた。豪雨の急流だったのか登山路までえぐった跡は危なっかしい。沢を数回渡り、谷川では小魚も見られた。鹿害摂食による林床植物相の変化を調査する柵が数ヶ所設けてある。



長治谷作業所から大カツラを見るには時間不足となる。小生の脚が遅かったのか、帰路は地蔵峠に向った。本日最後の登り道だ。峠から駐車場へは長い林道歩きだったが、全山紅葉に包まれ、絵のような風景の中を満ち足りた気持ちで下った。

快適な介護車まで提供運転して下さった西川さん達、ご参加の皆様、ありがとうございました。

